



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、下記のような臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

この研究では、個人情報と厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に係る資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら担当医師にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者所属・氏名：聖路加国際病院 臨床研修部 渋谷 晃子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 渋谷 晃子

喀痰検体を提出された方を対象とした、

貪食像の臨床的意義に関する研究

1. 研究の対象

2017年9月1日から2017年11月30日までに細菌検査室に提出されたすべての喀痰検体の中で、「肺炎」と臨床診断のついた方の喀痰検体

2. 研究の目的・方法

喀痰 Gram 染色は肺炎の起原因菌推定のために広く行われている検査方法です。Gram 染色では、菌体、好中球（白血球の一種）などが観察できますが、好中球が菌体を食べている像（以下、貪食像とします）があれば、一般的には肺炎の原因菌の菌種の推定の一助になるとされています。ただ、Gram 染色で好中球による菌体の貪食像の意義に関して検討した研究は少なく、その臨床的意義に関しては議論の余地を残すところです。本研究の目的は、喀痰 Gram 染色での貪食像の意義を検討することです。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査と、喀痰検体の Gram 染色の再鏡検のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、合併症の有無、服薬歴、各種検査値、画像検査歴など